

労働図書館新着情報

今月の図書紹介

<p>①ジョン・C・ウィリアムズ著『アメリカを動かす「ホワイト・ワーキング・クラス」という人々』集英社 (238頁, 四六判)</p> <p>2016年の米大統領選挙で異端の泡沫候補、ドナルド・トランプが勝利し、世界に衝撃が走った。その原動力になったのは、ホワイト・ワーキング・クラス(白人労働者層)。かつて米製造業を支えたブルーカラーワーカーで、一つの会社でまじめに勤め上げ、家族を養うことを美德としてきた人々だが、現在は居場所を失い、政府やメディアなどのエリート層からは軽んじられ、大きな怒りと失望を抱えている。本書は、これらの社会階級の分裂が生まれた背景を冷静にたどる。米国では白人労働者層が縮小し続けているが、こうしたミドルクラスの減少で国内的には排外主義的傾向、対外的には自国第一主義的傾向が強まると分析。トランプ大統領の誕生は必然だったといわれる所以だ。</p>	<p>③NHK取材班著『外国人労働者をどう受け入れるか』NHK出版 (188頁, 新書判)</p> <p>日本で働く外国人労働者数は、2016年に初めて100万人を突破した。人手不足に苦しむ日本の産業は、いまや外国人労働者なくしては成り立たない状況に陥っている。外国人労働者は、農業や水産加工業、建設業、製造業といった日本人がやりたがらない肉体負担の大きい現場では、単純労働者として機能している。様々なトラブルも増大し、「駆け込み寺」としての「シェルター」が設置されている。その反面、日本人の雇用を脅かすケースもみられるようになった。本書では、こうした外国人労働者の置かれた厳しい実態を踏まえ、識者や企業への取材を織り交ぜつつ、日本人と外国人たちが「共生」する未来像を目指す事例を紹介するなど、多角的な視点でまとめている。</p>
<p>②檜山敦著『超高齢社会2.0』平凡社 (203頁, 新書判)</p> <p>高齢者の経験、知識、技能を生かす著者の「高齢者クラウド」の研究は、人口ピラミッドの上下逆転の発想から生まれた。年長者が下の世代をバックアップする社会構造は実現できるのか。そのためには最先端の情報通信技術(ICT)によって、高齢者の強みや活力を社会に還元し、活躍の場を創り出すことが前提となる。そこで著者は、ICTによる高齢者の新しい労働スタイル「モザイク型就労」と高齢者クラウドの実現で、現役世代とシニアが協働することを提案する。具体的なイメージは、インターネットを媒介にネットワーク上の膨大な数のコンピューターを活用し、高齢者が現役世代の仕事にバックアップする構図。いまや研究開発から実用化の段階に入りつつある。</p>	<p>④アレックス・スジョンキム・パン著『シリコンバレー式よい休息』日経BP社 (349頁, 四六判)</p> <p>著者によれば、多くの人は、いかに働くかには興味があるが、いかに休むかについてはあまり考えようしないという。一方、休息に関する本は、労働の質や能力を高めることよりも、労働から逃げることに焦点を置こうとする指摘。問題なのは、休息とは単に働かないことと思込み、休息それ自体に独立した価値を認めようしないことだと訴える。労働と休息は対立するものではなく、むしろ生活の波の異なるポイントと見なすことができる。本書では創造性を刺激するため、①本当に適度な1日の労働時間は3~4時間②できる人は「朝活」に全力を注ぐ③休息するために歩く④あえて仕事を中断し、ひらめきを待つ——などで「戦略的休息」を取るよう提唱する。</p>

(日本十進分類[NDC]順に掲載)

主な受け入れ図書

(2017年9—10月労働図書館受け入れ)

- ⑤尾原和啓著『モチベーション革命』幻冬舎(246頁, 四六判)
- ⑥中込賢次著『日本型経営とコーポレート・ガバナンス』日本生産性本部生産性労働情報センター(239頁, 四六判)
- ⑦神野直彦他編『分かち合い』社会の構想!岩波書店(xi+240頁, 四六判)
- ⑧阿部正浩他編著『職業の経済学』中央経済社(235頁, A5判)
- ⑨樋口ユミ著『ハラスメント時代の管理職における職場の新常識』朝日新聞出版(211頁, 四六判)
- ⑩小杉礼子他編著『シングル女性の貧困』明石書店(256頁, 四六判)
- ⑪フィリップ・ジンバルドー他著『男子劣化社会』晶文社(342頁, 四六判)
- ⑫片桐恵子著『「サードエイジ」をどう生きるか』東京大学出版会(ix+170+18頁, 四六判)
- ⑬エキタス他著『エキタス:生活苦しいヤツ声あげる』かもがわ出版(149頁, A5判)
- ⑭武田尚子著『荷車と立ちん坊』吉川弘文館(10+210頁, 四六判)

労働図書館 <http://www.jil.go.jp/lib/index.html>

当図書館は、社会科学関係書を中心に和書138,404冊、洋書44,325冊、和洋の製本雑誌25,759冊を所蔵している日本有数の労働関係の専門図書館です。

労働関係の分野には、労働法、労働経済、労働運動、雇用職業、女性労働、パート派遣、高齢者労働、障害者労働、外国人労働、社会福祉などがあり、これらで、蔵書の半数以上を占めています。このほかにも、経済書をはじめ経営学、心理学、教育学、社会学など関係分野に及んでいます。また、和雑誌(266種)、洋雑誌(142種)、紀要(507種)、組合機関誌・紙を受け入れています。

特色としては、厚生労働省をはじめとする官公庁発行の統計類などの逐次刊行物、経団連など経営者団体の刊行物や民間研究機関刊行物、社史があり、労働組合に関しては、労働運動史、ナショナルセンターや産業別組合の大会資料などを継続的に収集しています。洋書については、特に国際労働機関(ILO)総会の議事録や経済協力開発機構(OECD)の刊行物、各国政府の労働統計書などを収集して閲覧に供しています。特殊コレクションとしては、戦前・戦後を通して歴史的に貴重な労働組合の原資料を収集、提供しています。

所在地: 〒177-8502 東京都練馬区上石神井 4-8-23
 開館時間: 9:30 ~ 17:00
 休館日: 土曜日、日曜日、国民の祝日、年末年始(12月28日~1月4日)、その他
 電話番号: 03(5991)5032 / FAX: 03(5991)5659
 利用資格: どなたでもご自由にご利用できます

貸出: 和書・洋書とも2週間、5冊までです
 ※身分証明書(運転免許証、健康保険証など)をお持ちください
 レファレンス・サービス: 図書資料の所在調査などのサービスを行っています

